



高西小だより

学校教育目標
夢を切り拓く
心豊かで
たくましい子ども

H23, 6, 10(金) 校長:古屋 N05

共に子どもを育てる！願いは一緒です！

早いもので、すでに6月半ばを迎えました。これまで様々な教育活動にご支援とご協力を頂きまして誠にありがとうございます。さて、年度始めのスタートからこれまで、各学級の子どもたちの実態に合った学年経営が行われてきましたが、一步一步着実に成果と成長がみられる面といくつかの課題も同時に見えてきました。学習面、生活面、友だち関係等の課題には、学校として、担任（教職員）として改善を図らなければならないこと、保護者の方々にも協力を得なければならないこと、地域や関係機関と連携しなければならないことなど様々ですが、どの課題をとっても、共に子どもの姿を共有し、家庭や地域でなければできない良さ、学校で行うことの良さ、時には、関係機関の専門性を生かすなど、それぞれを太い線で結び、共に関連し合いながら総合的に見守り育てていくことが大事です。



遠くへ飛んでいけ～！（人権の花運動）

子どもたちは、これからさらに家庭から学校・地域へ生活圏を広げ、多くの人との繋がりや体験、学びを通して成長していきます。どれ1つとして単独の生活圏で生きることはありません。学校には、「こんな子どもになってほしい」という目指す子ども像（学校教育目標）があります。保護者や家族にも、そして地域にも「こんな人になってほしい」という願いがあります。願いは一緒です。今後、更に連携して育てていきましょう。1学期もあと1か月半ほどです。ご支援とご協力をよろしくお願い致します。

山梨県人権の花運動（5月25日）

花を育てることによって、子どもたちの情操を豊かにし、命の大切さや相手への思いやりの心を育てようと人権啓発活動「人権の花運動」が行われました。北杜市の人権擁護委員さんや甲府地方法務局から16名もの方が来校し、人権について学んだり、一緒に給食を食べたりして子どもたちと交流しました。2日後、花の種を付けて飛ばした風船は、はるか千葉県君津市の方に飛び、お礼のメールが届きました。



人権という言葉を知っていますか？



ありがとうございます。大事に育てます。



会話が弾む楽しい一時でした。

おはなしやさんがやってきた！

5月24日の3校時、第1回朗読ボランティアおはなし会が1年生を対象に行われました。大型絵本やぬいぐるみ登場に歓声を上げながら聞き入っていました。興味関心をひく本格的な演出にびっくりです。



「ぶたくんと100ぴきのおおかみ」の一場面



「どろぼうがっこう」



「しまねずみになせしみができたのか」

縦割り班結団式が行われました！（5月26日）

運動会等各行事を中心となる縦割り班をとりまとめるブロック長さんが決まりました。黄色（1・2班）中田隆さん、緑組（3・4班）浅川航平さん、青組（5・6班）橘田麻央さん、赤組（7・8班）松澤南到さんです。それぞれ独自のリーダー性を発揮して元気な活動を展開して欲しいと思います。



各色のブロック長です。よろしくお願いします。

各班の話し合いが6年のリーダーを中心に進められました。

のべ22人の体育指導員の方が指導！（新体力テスト）

5月27日に上体起こし、反復横跳び、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、握力・長座体前屈の6種目、30日にはシャトルランを行いました。全種目に体育指導員さんが指導にあたりました。お陰様で、個に応じた細かな指導をしていただきましたので、事故もなく安全に実施することができました。本当にありがとうございました。



飯田会長さんのご挨拶です。

ボールはこう持つんだよ。

握力測定は個々に指導して頂きました。

5年生が田植えをしました！（6月2日）

あいにくの雨模様となりましたが、「田んぼの学校」の講師、山本林仁さんや地元の米づくりのプロでもあるおじいちゃんおばちゃん（8名）に植え方を教えてもらいながら楽しく田植えをすることができました。最後に、どろんこレースをして土と水に親しむこともできました。



段々と植え方が上手になってきました。

ここにもう1つ植えられね。

将来の農業後継者になるかな？！

4年生が北杜警察署を見学！（5月31日）

4年生は、社会科で、「安全なくらしとまちづくり」という単元で、警察署や消防署の学習をしています。地域の安全を守るために働いている人たちの工夫や努力に気付き、自分も地域社会の一員として自分にできることに努力する気持ちをもつことをねらいとしています。今回の北杜警察署では、刃物や銃弾から身を守るベスト（右写真）や警察官の所持品、用具、パトカー等を見たり触れたりして体験的な学習をしました。次は、消防署の学習が予定されています。

